

雲仙市入札監視委員会 平成 29 年度 第 1 回 定例会 審議概要報告書

開催日時	平成 29 年 5 月 25 日（月） 午後 1 時 50 分～午後 4 時 15 分																		
開催場所	雲仙市役所本館 3 階会議室 1																		
報告案件 及び 審査案件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 指名停止措置案件の報告について 3. 抽出案件の審査について <ol style="list-style-type: none"> ① 千千石・富津漁港水産物供給基盤機能保全業務 ② 八ヶ島第二団地 1 号棟外壁・屋上改修工事 ③ 準用河川金浜川②河川災害復旧工事 ④ 準用河川金浜川護岸補修工事 ⑤ 普通河川椎木川護岸整備工事 ⑥ 普通河川小野河内川①河川災害復旧工事 ⑦ 市道瑞穂ヒボノ木線道路災害復旧工事 ⑧ 市道吾妻倉子線道路災害復旧工事 ⑨ 公共土木事業竣工箇所等用地測量業務 																		
出席者 (委員)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 35%;">委員長（経済分野）</td> <td style="width: 30%;">吉田 省三</td> </tr> <tr> <td>委員（法律分野）</td> <td>川島 陽介</td> </tr> <tr> <td>委員（学識経験者）</td> <td>吉田 博幸</td> </tr> <tr> <td>委員（学識経験者）</td> <td>重野 淳</td> </tr> </table>	委員長（経済分野）	吉田 省三	委員（法律分野）	川島 陽介	委員（学識経験者）	吉田 博幸	委員（学識経験者）	重野 淳										
委員長（経済分野）	吉田 省三																		
委員（法律分野）	川島 陽介																		
委員（学識経験者）	吉田 博幸																		
委員（学識経験者）	重野 淳																		
(事務局)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 35%;">総務部長</td> <td style="width: 30%;">岸川 孝</td> </tr> <tr> <td>総務部契約検査課長</td> <td>竹田 義則</td> </tr> <tr> <td>総務部契約検査課参事補</td> <td>峰添 恒彦</td> </tr> </table>	総務部長	岸川 孝	総務部契約検査課長	竹田 義則	総務部契約検査課参事補	峰添 恒彦												
総務部長	岸川 孝																		
総務部契約検査課長	竹田 義則																		
総務部契約検査課参事補	峰添 恒彦																		
(担当課)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 35%;">産業部農漁村整備課長</td> <td style="width: 30%;">木本 昌平</td> </tr> <tr> <td>産業部農漁村整備課参事</td> <td>久米 重治</td> </tr> <tr> <td>産業部農漁村整備課主査</td> <td>本岡 勇樹</td> </tr> <tr> <td>建設部建築課長</td> <td>住田 陽俊</td> </tr> <tr> <td>建設部建築課参事補</td> <td>岩岡 淳</td> </tr> <tr> <td>建設部建築課主事</td> <td>津田 晃平</td> </tr> <tr> <td>建設部道路河川課長</td> <td>松山 修三</td> </tr> <tr> <td>建設部道路河川課参事補</td> <td>横田 俊介</td> </tr> <tr> <td>建設部道路河川課主査</td> <td>平田 拓也</td> </tr> </table>	産業部農漁村整備課長	木本 昌平	産業部農漁村整備課参事	久米 重治	産業部農漁村整備課主査	本岡 勇樹	建設部建築課長	住田 陽俊	建設部建築課参事補	岩岡 淳	建設部建築課主事	津田 晃平	建設部道路河川課長	松山 修三	建設部道路河川課参事補	横田 俊介	建設部道路河川課主査	平田 拓也
産業部農漁村整備課長	木本 昌平																		
産業部農漁村整備課参事	久米 重治																		
産業部農漁村整備課主査	本岡 勇樹																		
建設部建築課長	住田 陽俊																		
建設部建築課参事補	岩岡 淳																		
建設部建築課主事	津田 晃平																		
建設部道路河川課長	松山 修三																		
建設部道路河川課参事補	横田 俊介																		
建設部道路河川課主査	平田 拓也																		

主な質疑・意見	説明・回答
<p>1. 開会</p> <p>2. 指名停止措置案件の報告について</p> <p>(委員) 贈賄容疑で警察に逮捕されたことで指名停止を行なっているが、罪が確定しているわけではなく、仮に無罪になったとき、指名停止に対して損害賠償等があるのではないか。</p> <p>3. 抽出案件の審査について</p> <p>①千千石・富津漁港水産物供給基盤機能保全業務</p> <p>(委員) 50%程度で契約しているが、仕事量に対して適正な利益があるのか。また、特殊な事情でもあるのか。</p> <p>(委員) 実績を上げることによってまたこの指名の対象になる可能性が増えるのか。</p> <p>(委員) 成果物に問題はなかったのか。</p>	<p>(事務局) 前回の11月から今回定例会までの間に8件13者の指名停止措置を行いました。雲仙市発注の工事に関したものが1件、長崎県からの指名停止措置の通知等により明らかになったものが7件です。</p> <p>(事務局) 指名基準の運用の一環として、一般社会通念上、契約の相手として不適切と認められる者を指名対象から排除する発注者としての規制措置としています。</p> <p>(事務局) 10月から3月までに執行した建設工事は77件です。制限付一般競争入札が35件、指名競争入札が42件、平均落札率は92.19%です。建設コンサルタント等業務は指名競争入札13件です。平均落札率は73.05%です。</p> <p>(担当課) 殆どが人件費であるため、利益はあるのではないかと推察します。事情としては、実績作りもあったのではないかと推察します。</p> <p>(事務局) 同種業務の実績についても考慮して指名選定しています。</p> <p>(担当課) 問題はありませんでした。</p>

②八ヶ島第二団地 1 号棟外壁・屋上改修工事
(委員)

一般競争入札でありながら建築 A ランクの案件は入札のできる会社数が少ない。どのようにして公正性を担保していくのか。

③準用河川金浜川②河川災害復旧工事
(委員)

応札のあった 4 者のうち、落札した 1 者のみが予定価格内の高いところで落札しており談合等が疑われるのではないかと推察しています。

④準用河川金浜川護岸補修工事
(委員)

制限付一般競争入札で 2 者しか参加していないが、入札は成立するのか。

⑤普通河川椎木川護岸整備工事
(委員)

辞退者が多く、参加 3 者中、2 者は予定価格を超過し、落札した 1 者は落札率が高く、談合等が疑われるのではないかと推察しています。

(事務局)

参加業者の拡大につながるよう入札参加条件等について今後検討します。

(事務局)

河川災害は、資機材の搬入に仮設道路が必要な現場条件の悪い場所が多く、復旧区間の脇のすり付けも多いことなどから、採算が合わないことが一つの理由となり、敬遠される傾向となっています。そのような辞退者が多い中において、1 業者が予定価格の範囲で落札したものです。また、予定価格の超過については、現場条件を見込んだ自社見積りが官積算よりも高いところでないかと採算が合わないためではないかと推察しています。

(事務局)

2 者の参加については、公告又は通知をしたときに、入札者が 1 者の場合は入札を行わない旨を明示しておりませんので有効としております。また、電子入札のため、応札時に参加者数が分からない状況であります。

(事務局)

河川工事であり、災害復旧工事と同じ時期に発注していますので、河川災害復旧工事と同じような理由で、少ない応札数であったと推察しています。1 業者の入札額が予定価格の範囲内であり、結果として落札率が高くなっています。

⑥普通河川小野河内川①河川災害復旧工事

⑦市道瑞穂ヒボノ木線道路災害復旧工事

⑧市道吾妻倉子線道路災害復旧工事

(委員)

1者しか入札がない。このようなやり方でOKであれば談合は容易ではないか。

(委員)

再入札案件については、初回入札では最低制限価格をわずかに割り込んで失格となっている。指名替えを行い、高いところで落札していることに矛盾を感じる。最低制限価格制度を柔軟に対応することはできないか。

(委員)

今回の災害復旧工事は1者入札が多い。適切な設計変更を行うことや、工期に余裕を持たせた発注、数箇所をまとめて1地区工事とするなど辞退を減らす工夫を行うべきではないか。

⑨公共土木事業竣工箇所等用地測量業務

(委員)

指名競争入札で全社が予定価格の5%以内に並んでいる入札結果に疑問を感じる。談合等が疑われるのではないか。

(事務局)

28年災害は、発生地域が集中しており、全体的に敬遠される傾向が強く、不落、不調の状況からも競争相手を排除して応札したものではないと判断しています。

(事務局)

最低制限価格のあり方については、近隣市とも協議し、県へ相談に行きたいと考えています。

(事務局)

入札辞退理由として、現場条件と見積りの不一致や採算が合わないなど価格面でも比較的多いため、災害復旧担当課において現場条件に見合う積算方法や契約変更のあり方など方針を定め改善を図っていきたいと考えています。

(担当課)

官積算と同じように業務予定額を見積もれる精度があると思われ、また、指名業者の傾向や予定価格付近で競争して落札できる傾向をもとに応札されていると推察します。

このようなことから、指名業者の固定化とならないよう、競争性、公正性のある指名選定を行なっていきたいと考えています。

また、今年度より、最低制限価格を導入しておりますので、入札結果を注視していきたいと考えています。